

平成 29 年度ユネスコスクール年次報告書

1. 学校概要

学校名 愛知県豊橋市立北部中学校 (※正式名称を記載)

種 別 保育園・幼稚園 小学校 小中一貫^{※注1}

中学校 中高一貫^{※注2} 高等学校

教員養成大学 専修学校、各種学校

特別支援学校

その他 (例：小中高一貫)

※注1 義務教育学校を含む ※注2 中等教育学校を含む

所在地 〒440-0086

愛知県豊橋市下地町長池1番地

E-mail hokubu-j@toyohashi.ed.jp

Website www.hokubu-j.toyohashi.ed.jp

幼児児童生徒数 男子 189名 女子 156名 合計 345名

幼児・児童・生徒の年齢 13歳～15歳

2. 報告期間

平成29年4月～平成30年3月

3. 活動内容

※記入にあたっては、末尾の留意事項も確認ください。

(1) 活動の概要 (800字程度+活動内容を表す写真数枚)

※チェック事項1-1、2-1に対応

当校は、「為せば成る」を学校理念 (※もしくは活動テーマ) として、ESDを持続可能な地域社会づくりの担い手を育む教育と捉え、ESDの実践を通して自ら考え正しく行動する力の育成を目標とした。

具体的には、自然、歴史、地域を柱に、①自然に係わる活動、②歴史に係わる教育、③地域に係わる学習、④文化に係わる学習を行った。

① 自然に係わる活動

北部中学校では、1年生が総合的な学習の時間などを通して校区の清掃活動に取り組んでいる。今年度は北部中学校区にある下地小学校、大村小学校、津田小学校の4年生と本校の1年生が参加をした。小雨の中ではあったが、河川敷や校区の神社や遺跡、学校付近のごみを校区の方々と一緒に拾った。活動後の感想には、「掃除する前、落ち葉だらけで汚かったけれど、掃除後、清々しい気持ちになりました。」「あまり気にしたことがなかったけれど、よく通る道にもたくさんのごみが落ちていました。地域の方々もクリーン活動を手伝ってくださり、交流は大切だなと思いました。」「これからは校区内クリーン活動だからとか、ゴミゼロだからではなく、自分からゴミを拾って、地域をきれいにしていけるようにしたいです。」とあるように、校区を大切にしようとする意識を高める活動になった。

② 歴史に係わる教育

古い町並みや遺跡を訪問し、当時の生活や文化を追究している。まとめたことを発表することで言語力向上をめざしている。さらに地域のよさを見つけ、郷土に愛着をもてるようにしている。

③ 地域に係わる学習

地域の方々を講師として招聘し、普段の授業では体験できない活動を通して豊かな人間の育成を図っている。今年度は、栄養士の方を招いて、食についての知識を深め、けがの予防や体のしくみについて学ぶ有意義な会になった。

④ 文化に係わる学習

音楽部を中心に地域の祭礼や成人式や敬老会などの地域行事で、「かわきた太鼓」として、和太鼓や篠笛を演奏し、会場を盛り上げている。

(2) 活動の詳細

① 活動内容

※チェック事項 1-2, 2-1 に対応

ア. 活動分野 (複数選択可)

<input checked="" type="checkbox"/> 1. 環境	<input type="checkbox"/> 2. エネルギー	<input type="checkbox"/> 3. 防災	<input type="checkbox"/> 4. 生物多様性
<input type="checkbox"/> 5. 気候変動	<input type="checkbox"/> 6. 国際理解、文化多様性	<input checked="" type="checkbox"/> 7. 地域の伝統文化、文化遺産	<input type="checkbox"/> 8. 人権・平和
<input type="checkbox"/> 9. 健康・福祉	<input type="checkbox"/> 10. 食育	<input type="checkbox"/> 11. 持続可能な生産と消費	<input type="checkbox"/> 12. 貧困
<input type="checkbox"/> 13. エコパーク	<input type="checkbox"/> 14. ジオパーク	<input type="checkbox"/> 15. グローバルシチズンシップ教育 (GCED)	
<input type="checkbox"/> 16. ジェンダー平等	<input type="checkbox"/> 17. その他()		

イ. 活動を通して育みたい資質や能力 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 批判的に考える力	<input type="checkbox"/> 2. 未来像を予測して計画を立てる力
<input checked="" type="checkbox"/> 3. 多面的、総合的に考える力	<input type="checkbox"/> 4. コミュニケーションを行う力
<input type="checkbox"/> 5. 他者と協力する態度	<input type="checkbox"/> 6. つながりを尊重する態度
<input type="checkbox"/> 7. 進んで参加する態度	
<input type="checkbox"/> 8. その他(自由記入)	

ウ. 活動時間 (複数選択可)

<input type="checkbox"/> 1. 教科の時間	<input checked="" type="checkbox"/> 2. 総合的な学習の時間
<input type="checkbox"/> 3. 特別活動等	<input type="checkbox"/> 4. クラブ活動
<input type="checkbox"/> 5. その他(自由記述)	

エ. 使用した教材 (書籍、ウェブサイト、パンフレットなど具体名)

--

- ② ユネスコスクールとしての活動を各校の教育課程（指導計画）にどのように位置付けているか。指導内容を適切に定め、指導方法の工夫改善に努めているか。（200～300字程度）

※チェック事項 1-2, 1-3 に対応

本校ではユネスコスクールとしての活動を、総合的な学習、課外学習の中に位置づけ行っている。ESDを通して、人格の発達や、他者・社会・環境とのつながりを尊重できる子どもの育成を目指している。年度や学年に応じてさまざまな活動が考えられるが、いずれにしてもまずは関心を喚起すること、人やモノとの触れ合い、体験を重視すること、探求や実践を重視する参加型の活動を展開することに重きをおいている。職員がESDに対して共通理解をもち、活動にあたっていきたいと考えている。

- ③ 学校全体で組織的かつ継続的に活動に取り組める体制や環境をつくるため、どのような取組を行っているか。（200字程度）

※チェック事項 1-4 に対応

各学年での打ち合わせをもとにした年間計画に則り活動を行っている。外部講師を招く講演会や体験活動については、生徒たち本人の書いたお礼状を送り、次年度以降の後輩たちのよりよい学びへとつながるようにしている。関わってくださる方々への感謝を職員・生徒ともに忘れず、地域とともに発展していけるよう意識付けをしている。

- ④ ユネスコスクールとしての活動の質の向上のための学校活動の評価（内部/外部）の方法・具体的内容と、それによって明らかになった成果と課題。（200字程度）

※チェック事項 1-5 に対応

学校評価アンケートにおいて、職員、生徒、保護者それぞれの立場からの評価をとっている。ユネスコスクールとしての活動により、環境・郷土への関心の高まりが見受けられた一方で、国際理解や生物多様性など、理解の深まっていない項目もあった。活動を取捨選択しているので仕方ない部分もあるが、子どもの興味関心に即した調べ活動など、活動の幅を広げていけるとよい。

- ⑤ ESD の推進拠点としての活動成果の発信方法・内容と、発信により得られた効果。(200字程度) ※チェック事項 2-2 に対応

本年度はユネスコスクール豊橋大会があり、本校もポスターセッションへのポスターの寄稿を行った。地域ではたらく方々に学校に来ていただき、実際に子どもたちがお話を聞きながら体験を行う活動について報告をした。

- ⑥ 学校以外の団体との協働・交流・ネットワーク形成(地域コミュニティ、大学、ESD活動支援センター、ESDコンソーシアムとの連携など)
(200字程度) ※チェック事項 2-3 に対応

地域のお祭りに音楽部が毎年参加しており、和太鼓を披露している。子どもたちのいきいきした演奏が見られると地域の方々も楽しみにされており、よい関係を築けている。また、地元の本社工場を構えるやまさちくわの社長である佐藤さんにも毎年学校まで来ていただき、働くことについての講話をしてもらっている。子どもたちと地域がお互いに理解を深め、継続的な活動になっている。

- ⑦ 国内外のユネスコスクールとの交流・ネットワーク形成(200字程度) ※チェック事項 2-4 に対応

特になし

- ⑧ ユネスコスクールの活動による効果について、特筆すべき（特に強調したい）内容（例えば児童生徒、教員、カリキュラム・教授法、学校経営、地域・保護者との関係など様々な面でのポジティブな変化）（200字程度）
※チェック事項 2-5 に対応

これまで何気なく行ってきた行事や活動が、実はESDと結びついていることに職員が気づくことがしばしばある。子どもたちの活動をESDと結びつけたかたちで価値づけをすることで、子どもたちの視野も広がっていくと思う。またユネスコパスポートの活用で、子どもたちはボランティアなどの活動に積極的に取り組めるようになってきている。

- (3) 平成30年度の活動計画（200～400字程度）

昨年度に行った活動を引き続き行う。一年生は校区クリーン活動をはじめとした環境学習、福祉体験活動を含めた福祉についての学習をする。二年生は職場体験学習に絡めて、「はたらく人」と多く接する機会をつくる。三年生は修学旅行の中で防災や国の仕組みについて学ぶ。また学校全体として、老人ホームボランティアなどの福祉体験活動への参加も積極的に取り入れる。文化祭では地域で働く方にお越しいただき、子どもたちへの体験講座を開く予定である。